

PFASの飲料水濃度規制値

米で大幅な強化案

日本適用なら基準超え続出

米環境保護庁(EPA) 念ざれている有機フッ素化合物PFAS(ピーフ)は14日、健康への影響が懸

案を公表しました。PFASのうち6種類の物質が対象で、PFOS(ペル

フルオロオクタンスルホン酸)とPFOA(ペルフルオロオクタノール)について、法的強制力を伴う飲料水の規制値案を公表しました。PF

同庁は、飲料水の健康勧告値としてPFOS・PFOAの合計で1リットルあたり70ナギと定めています(1ナギは10億分の1ナギ)。今

正式に決まれば、公共用水についてこれらのPFASを監視し、濃度を公表しなければなりません。測定地点のうち13都府県の81地点で目標値を超えまし

フルオロオクタンスルホン酸)とPFOA(ペルフルオロオクタノール)について、現行の勧告値の10分の1レベルの厳しい値としました。意見募集や公聴会を経て、年内に最終決定する予定です。

回、両物質をそれぞれ同4ナギと大幅に厳しい規制値を設定しました。PFNA、PFHxS、PFBS、HFPO-DA(通称GenX)については混合物として評価します。

日本では、暫定目標値としてPFOS・PFOAの合計を同50ナギとしています。環境省調査(21年度)では31都道府県1133の測定地点のうち13都府県の81地点で目標値を超えまし